

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会

〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル

電話 023 (642) 2838

FAX 023 (642) 2839

購読料 年共1ヵ月 500円

印刷 コロニー印刷

第525号

8月夏季特別号 TOPICS

- 2面…保団連代議員会報告
- 3面…今年度の指導情報開示
- 4面…県内歯科指導計画
- 5面…つるさんのお店探訪
- 6面…気になるワインの話



残暑お見舞い
申し上げます
役職員一同

夏季特別号写真コメント



ツバメシジミと ミヤギノハギ

山形市
矢尾板医院 矢尾板 信孝 先生

ツバメシジミはハギ類などのマメ科植物と生活を共にしているの、ミヤギノハギの周りを飛んでいるのをよく目にします。このチョウの翅の表側はつやのある明るい青紫色をしていて、羽ばたいている時は点滅して美しく印象的です。

好評につき配信期間延長 医療安全管理対策動画

協会は年2回、医療安全管理対策テキストを作成し、解説動画をWebで配信している。23年前期は、院内感染対策と診療用放射線に係る安全管理をICD認定医である当会の中島幸裕理事長が、医療安全管理は元大阪府保険医協会事務局次長の尾内康彦氏が解説した。

院内感染対策は、前回の視聴者アンケートで要望が多かった、診療所における新型コロナウイルス感染対策事例を紹介。医療安全管理ではSNSやネット書き込みなど、近年の患者トラブルで特徴的な事例を紹介し、対応のポイントや心構えなどを解説した。

管理は、職種に応じて学ぶ項目を選択できるよう5分割にして動画を配信した。テキストは会員医療機関の希望者に無料で送付し、7月未現在で院内感染対策・医療安全管理テキストは2165冊、診療用放射線に係る安全管理テキストは1520冊が活用されている。

なお、要望が多く、解説動画の配信を8月末まで延長している。ぜひ視聴して保健所の立入検査にも備えていただきたい。



芥川龍之介の小説に「藪の中」という短編があります。1人の殺された男と消えた女に関する

て接点のある7人が自分の視点から語っていく物語で、事実は一つなのに解釈が様々となり、真実はなにか、また真実が本当にあるのか考えさせられます。最近、「藪の中」の様な事件が多いようです。家族内での事故あるいは殺人、近所の知人や無関係な人々に対する暴力、殺傷事件が毎日の様に報道されます。マスクみだけでなく、現代ではSNSなどネットで個人的感想や思い込みの理屈が肉付けされ事実確認されずに拡散していきまます。また広告収入を目的に興味本位の話題を提供するYouTubeがネット社会を席巻しています。悲惨な事件を繰り返さないためには想像や推定でなく責任ある態度で真実を明らかにすることが大事であろうと思います。近年、コロナ禍の中で相手を直接肌で感じる話し合いの場が少なくなっているのではないでしょうか。SNSでは一方的な自己主張になりがちで、相手の意見を受け入れる雰囲気や乏しくなりがちです。これは国同士でも同じでしょう。顔を合わせず、間接的な情報だけでは不信・誤解から恐怖・怒りや憎しみへエスカレートしてしまいます。社会の「藪」のすべてに白黒はつけられませんが、今の私たちにネット情報の海の中から正しい取捨選択をしていく知恵が必要だと思います。(K)